

西側世界の道徳的崩壊

ジョン・ミアシャイマー

2024年12月24日

https://mearsheimer.substack.com/p/the-moral-bankruptcy-of-the-west?utm_source=post-email-title&publication_

- * 2024年12月19日、**ヒューマン・ライツ・ウォッチ**は、イスラエルによるガザでの大量虐殺について詳述した179ページの報告書を発表しました。
- * 2024年12月5日、**アムネスティ・インターナショナル**は、イスラエルによるガザでの大量虐殺について詳述した296ページの報告書を発表しました。
- * 2024年11月21日、**国際刑事裁判所**は、イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相とヨアヴ・ギャラント元国防相に対し、人道に対する罪と戦争犯罪の容疑で逮捕状を発行しました。
- * 2024年1月26日、**国際司法裁判所**は、イスラエルがガザでジェノサイド（大量虐殺）を行っているという告発が高い確率で成り立つと認定しました。

西側諸国はこれまで、人権、特にジェノサイドの防止に力を入れて来ました。そのことを考えれば、世界中の人々は期待したことでしょう。アメリカ、イギリス、ドイツのような国々は、これらの判断と決定を受けて、イスラエルのジェノサイドを阻止するだろうと…。

その期待は裏切られました。それどころか、これら**3カ国の政府、とりわけアメリカは、イスラエルのガザでの想像を絶する行動をことごとく支持**してきました。そして実際のところ、これら3カ国はこの**大量虐殺に、いままさに加担**しています。

さらに、驚くべき事実があります。これらの国々や**欧米諸国全般の多くの人権擁護者のほとんど全員が沈黙**しています。彼らはイスラエルが大量虐殺を実行している間、沈黙を守ってきました。主流メディアは、イスラエルがパレスチナ人に行っていることを暴露しようとしなかったし、異議を唱える努力もほとんどしてこなかったのです。実際、一部の主要メディアは胸を張って、イスラエルの行動を支持しています。

イスラエルの大量虐殺を支持し、あるいは沈黙を守ってきた西側の人々は、自分たちの行動を正当化し、夜眠れるようにするために、自分たちに何を、どう言い聞かせているのでしょうか。

歴史が彼らを優しく扱うことはないでしょう。

(了)

【翻訳チェック 鈴木頌】